

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公開番号】特開2020-116086(P2020-116086A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-8958(P2019-8958)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月8日(2021.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

ゲームの結果が予め定められた特別結果となる場合に、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、表示装置と、表示装置による演出を制御する演出制御手段と、を備え、演出制御手段は、複数の識別図柄の変動表示と停止表示とを行う変動表示演出を表示装置に表示可能な遊技機が知られている(例えば特許文献1参照)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

従来の遊技機においては、遊技の興趣を高めることができなかった。

本発明の目的は、遊技の興趣を高めることである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

所定条件の成立に基づき変動表示領域で識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行し、当該識別情報の停止表示の結果が特別結果となった場合に遊技者に遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

前記識別情報は、識別画像と、キャラクタ画像と、を含む構成であり、

前記変動表示ゲームの実行中に前記キャラクタ画像を消去可能であることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立に基づき変動表示領域で識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行し、当該識別情報の停止表示の結果が特別結果となった場合に遊技者に遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

前記識別情報は、識別画像と、キャラクタ画像と、を含む構成であり、

前記変動表示ゲームの実行中に前記キャラクタ画像を消去可能であることを特徴とする遊技機。